

「人間の安全保障」 連続講義

東京大学「人間の安全保障」プログラム（HSP）は、
2024年度に創設20周年を迎えました。

これを記念し、同年度に東京大学出版会より刊行された
『人間の安全保障——東大駒場15講』の執筆者を講師に迎え、
連続セミナーを開催いたします。

スケジュール

（全8回・各回ごとにご参加いただけます）

第1回：2025年9月19日（金）18:00-20:00（17:30開場）

- ・「開会挨拶」（遠藤貢：東京大学教授）
- ・「人間的な地球社会を目指して——人間の安全保障の30年」（阪本拓人：東京大学教授）
- ・「脆弱な人々を保護する枠組み——国際法と政治的概念」（キハラハント愛：東京大学教授）

第2回：2025年9月26日（金）17:00-19:00（16:30開場）

- ・「アフリカの平和活動と人間の安全保障」（遠藤貢：東京大学教授）
- ・「牧畜民から見る人間の安全保障——自然と社会の変化のなかで」（阪本拓人：東京大学教授）

第3回：2025年10月10日（金）17:00-19:00（16:30開場）

- ・「人の国際的移動と教育——移民の子どもをめぐる教育問題と「日本人であること」の特権性」（高橋史子：東京大学准教授）
- ・「インドネシア警察改革への「お手伝い」——日本の警察分野の国際協力」（谷垣真理子：東京大学教授）

第4回：2025年10月17日（金）19:00-21:00（18:30開場）

- ・「自然災害と被災者の尊厳」（内尾太一：静岡文化芸術大学准教授）
- ・「生き抜くためのつながりを可視化する」（関谷雄一：東京大学教授）

第5回：2025年10月31日（金）17:00-19:00（16:30開場）

- ・「異なる社会をつなぐ——先住民と人間の安全保障」（受田宏之：東京大学教授）
- ・「「農業開発」を再考する」（中西徹：東京大学名誉教授）

第6回：2025年11月14日（金）19:00-21:00（18:30開場）

- ・「中・東欧諸国における多様な歴史記憶——現在から過去に向けられるまなざし」（重松尚：明治学院大学研究員）
- ・「歴史の中の人間の安全保障——バルカンの事例から」（黛秋津：東京大学教授）

第7回：2024年11月28日（金）18:30-20:30（18:00開場）

- ・「海賊とは誰か——「人類の敵」というレトリック」（星野太：東京大学准教授）
- ・「平和論と人間の安全保障」（小川浩之：東京大学教授）

第8回：2024年12月12日（金）17:00-19:00（16:30開場）

- ・「語り手のいない物語——東日本大震災における「心霊体験」と人間を連帯させるもの」（吉国浩哉：東京大学教授）
- ・「記憶、記録、文学——『苦海浄土——わが水俣病』から」（星埜守之：東京大学名誉教授）

場所

東京大学駒場キャンパス18号館
4階コラボレーションルーム1
（各回共通・対面のみ）



（キャンパスマップ）

参加登録



（参加登録フォーム）

書籍情報



人間の安全保障

東大駒場15講

阪本拓人／キハラハント愛〔編〕

Human
Security
Revisited
15 Perspectives



国家の壁を乗り越える

今こそ求められる重要な理念の最前線を、
人文と社会の知見にもとづき横断的に提示

東大駒場発の大学院プログラム 創設20周年記念出版

東京大学出版会



主催：東京大学 大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム（HSP）